

神奈川県内広域水道企業団

実施計画

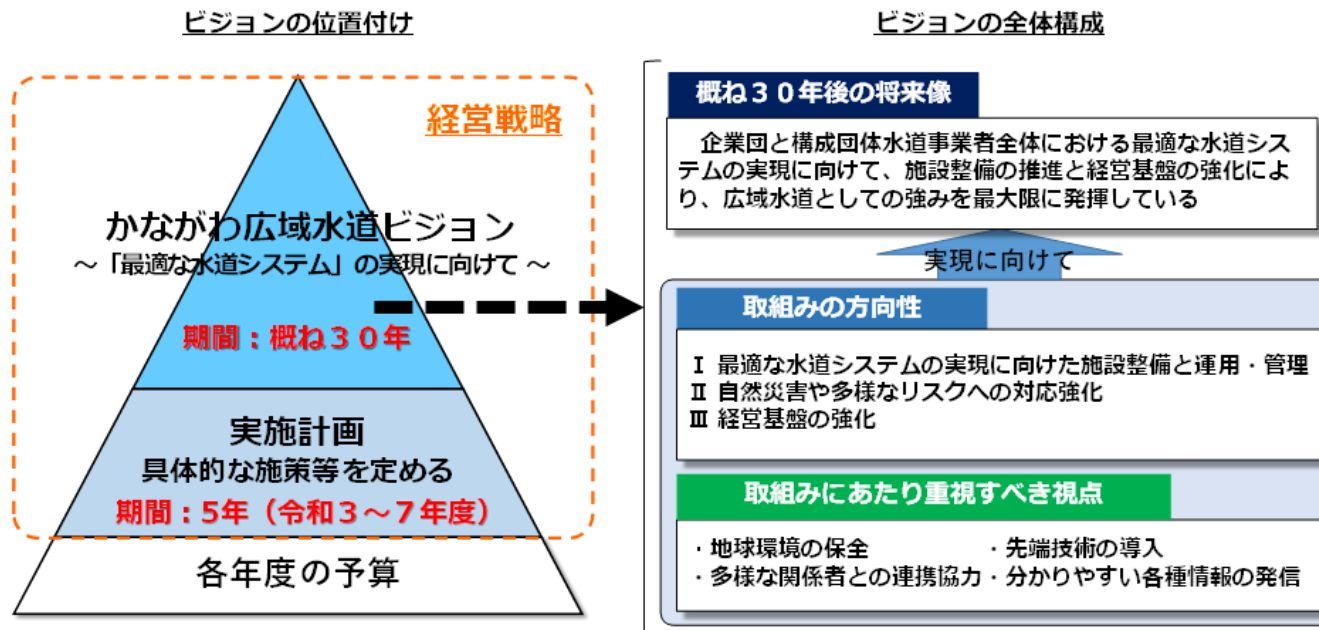
令和3～7年度

令和4年度末現在の実施状況



1 実施計画(令和3～7年度)の実施状況について

- 神奈川県内広域水道企業団では、かながわ広域水道ビジョンと具体的な実施施策を定めた「実施計画（令和3～7年度）」のもとで、概ね30年後の将来像の実現に向けた取組みを推進しています。
- 実施計画の各取組みは、毎年度、実施内容と関連業務指標及び工事・委託の契約状況を用いて実施状況を確認することとしています。
- 実施計画2年目となる令和4年度の実施状況は、次頁以降のとおりです。



(注) ビジョンと実施計画を一体のものとして、総務省が地方公営企業に策定を要請する「経営戦略」に位置付けています。

2 実施計画(令和3～7年度) 令和4年度の実施状況

令和4年度の総括

実施計画2年目となる令和4年度は、ビジョンの3つの取組みの方向性に沿って、次のとおり取組みを推進しました。

I 最適な水道システムの実現に向けた施設整備と運用・管理

今後の水道施設の再構築に係る施設整備・費用負担のあり方に係る検討（継続）や、上流水利権の活用に向けて河川管理者との協議を継続し、将来の安定給水の確保や効率性の向上に向けた取組みを進めました。また、老朽化対策に係る工事や業務委託を実施し、安定的な供給体制の維持に努めました。

II 自然災害や多様なリスクへの対応強化

取水施設の浸水対策として本館他開口部の改良（防水扉）を行うとともに、施設全体を囲む防水壁設置に向けた検討（継続）を進めています。また、停電対策として西長沢浄水場の受配電設備の2系統化が完了したほか、相模原ポンプ場の非常用発電機の更新等を引き続き実施し、危機管理への対応力の強化を進めました。

III 経営基盤の強化

将来の施設整備の財源を確保するため建設改良積立てを実施したほか、人材の確保・育成を進めるとともに、官民連携により浄水場の更新に向けた水処理実験や、浄水処理のオペレーション業務の支援に係る共同研究等を実施しています。さらに、脱炭素化やDX（デジタルトランスフォーメーション）推進に係る計画策定についても取組みを進めました。

- 各取組みは概ね順調に推移しておりますが、入札不調や半導体不足の影響等により、実施施策について、遅れが生じた工事や取組みがあることから、令和5年度以降着実に遅れを解消していきます。

3 実施計画(令和3～7年度) 実施状況の評価(令和4年度)

I 最適な水道システムの実現に向けた施設整備と運用・管理 〔○：順調、△：一部遅れ等（▲：外的要因による一部遅れ等）〕

取組み		令和4年度の主な取組みと遅れ（下線）の内容	実施状況
取組 1	浄水場の増強と送水管等の整備	・ 綾瀬及び相模原浄水場の増強検討（継続）	○
		・ 新たな供給エリアに向けた送水管の整備検討（継続）	○
取組 2	安定的かつ効率的な水運用と原水の確保	・ <u>相模川上流の水利権活用に係る水利使用申請について河川管理者と協議中（実施時期に遅れ）</u>	△
取組 3	浄水処理と水質管理の強化	・ 浄水処理実験装置を活用した研修等、若手職員の育成 ・ <u>実験装置の流量調整等に課題があるため、実処理との比較評価に遅れ</u>	△
		・ R7年度以降の広域水質管理センターの次期共同事業内容と運営方法について検討・協議	○
取組 4	CO ₂ 排出量削減等の環境負荷軽減	・ 太陽光発電設備増設に向けたPPA導入等に係る調査実施	○
		・ <u>相模川上流の水利権活用に係る水利使用申請が審査中のため、上流取水による電力使用量削減に遅れ</u>	△
		・ 電子決裁/文書管理システム等のペーパーレス推進施策を検討・予算化	○
取組 5	効率的な点検と計画的な修繕・更新	・ 施設の修繕・更新工事は、概ね計画通り着手 ・ <u>半導体不足等の影響により、一部の工事で工期延長</u>	▲
		・ 送水管延命化のため、マクロセル腐食対策工事を実施	○
		・ 施設管理システムに管路系のアセットマネジメント機能構築	○
取組 6	施設の維持管理性の向上	・ <u>西長沢浄水場の浄水連絡管布設に係る詳細設計を翌年度に延期</u>	△
		・ 浄水場送水系統間の連絡管整備の概略のとりまとめ	○

II 自然災害や多様なリスクへの対応強化

[○：順調、△：一部遅れ等（▲：外的要因による一部遅れ等）]

取組み		令和4年度の主な取組みと遅れ（下線）の内容	実施状況
取組7	自然災害に備えた対策 事故等の多様なリスクへの 対策	・取水施設浸水対策が一部完了、防水壁設置に向け設計に着手	○
		・相模原ポンプ場の非常用発電機の更新を実施中 ・西長沢浄水場の受配電設備2系統化の完了	○
取組8	非常時における組織対応力の 強化、非常時の応急復旧 における協力体制の構築	・各種訓練を概ね計画どおり実施 ・ <u>既存マニュアルを整理した危機管理対策マニュアルの策定に遅れ</u>	△
		・構成団体との情報共有のため、LINEWORKSを活用	○

III 経営基盤の強化

取組み		令和4年度の主な取組みと遅れ（下線）の内容	実施状況
取組9	長期的な視点に立った財政 運営	・再構築の財源確保のため、建設改良積立てを実施 ・補助制度創設に向け、構成団体と要望活動を実施	○
		・元利償還金負担軽減のため、充当率40%以下で起債	○
取組10	事業環境の変化に応じた事 業運営	・組織改編（デジタル推進課の新設）を実施	○
		・ <u>DX推進のためのDX実行計画の策定に遅れ</u>	△
		・ <u>DBO等、新たな発注方式の導入に係る制度設計に遅れ</u> ・官民連携ガイドラインにより、2件の共同研究を実施、さらに 2件の共同研究を実施中	△
取組11	人材の確保・育成	・ <u>受検者増加に向けた取組みを実施したが、受験者数が減少</u> ・専門技術者等確保に係る採用を実施（用地関連1名） ・ <u>人材育成に係るエキスパート型職員の制度検討に遅れ</u>	△
取組12	創造力・活力のある職場づ くり	・他団体との人事交流実施（派遣・受け入れ、各3名） ・ <u>民間提案の採用による西長沢浄水場水処理実験の開始に遅れ</u> ・表彰・業務改善提案制度の活用・周知強化の作業に遅れ	△

4 各取組みに関連する指標

I 最適な水道システムの実現に向けた施設整備と運用・管理	項目	R2	R3	R4	R7目標	備考
	1m ³ あたりの電力消費量 (kWh/m ³)	0.47	0.48	0.47	0.43	R3：他事業体の施設調査への協力に伴う臨時的な電気使用量等の増分を含む（増分を除いた値は、各々0.47kWh/m ³ 、4.64MJ/m ³ ）
	1m ³ あたりの消費エネルギー(MJ/m ³)	4.64	4.75	4.61	4.19	
	浄水発生土の有効利用率 (%)	100	100	100	100	
	かび臭の独自水質管理値達成状況(%)	100	100	100	100	
	総トリハロメタンの検出状況(mg/L)	0.007	0.006	0.006	—*	*傾向を評価する指標のため目標は定めていない (国の基準値0.1以下、企業管理値0.01以下)
II 自然災害や多様なリスクへの対応強化	項目	R2	R3	R4	R7目標	備考
	浄水施設の耐震化率 (%)	100	→	→	100	R2年度完了
	ポンプ所の耐震化率 (%)	100	→	→	100	R2年度完了
	送水施設（調整池）の耐震化率 (%)	66.5	73.5	73.5	100	R4年度相模原浄水場調整池(2)耐震補強完了。R5年度100%予定
	72時間以上の燃料確保率浄水場(%) (確保できる浄水場数/全浄水場数)	75 (3/4)	75 (3/4)	75 (3/4)	100 (4/4)	R2以降、ランニングストックの導入による。
	災害対策訓練の計画に対する実施率%	47	62	96	100	R2、R3：新型コロナによる影響
III 経営基盤の強化	項目	R2	R3	R4	R7目標	備考
	給水収益に対する企業債残高の割合%	241.0	207.1	177.5	200以下	企業債発行額の抑制及び償還の進行による
	給水収益に対する企業債元利償還金の割合(%)	45.2	43.5	40.1	30以下	
	内外部の研修計画に対する実施率(%)	35.0	52.1	55.5	100	R2～4：新型コロナによる影響
	水道技術に関する資格取得（件）	102	106	103	125	R4：定年退職者等による影響
	採用試験受験者数（人）※試験方式見直しを踏まえ、R7カック内受験者数の達成を目指す	182	200	123	115 (230)	R1：71人。R2以降、試験方式の見直し(紙→Web)、コロナ禍による影響により増。R4は、民間企業の早期内定増による影響と推定。

5 施設整備に係る工事・委託の実施状況(発注件数ベース) ※対象：1件1千万円以上の工事等

項目	主な取組み	施設整備に関する工事・委託の実施状況 (当該年度までの発注件数 / 5カ年分の件数)				
		R3	R4	R5	R6	R7
再構築	浄水場増強・送水管整備の設計	28.6 %	28.6 %			
浄水処理・ 水質管理	浄水処理実験装置の設置	100 %	実験装置設置、R3年度完了 R4年度より粒状活性炭等の調査研究			
環境	相模原・綾瀬浄水場排水処理施設の施設改良(乾燥土から脱水土へ)	100 %	乾燥工程廃止、R3年度完了 R4年度より全浄水場脱水土による搬出			
修繕	排水処理設備機器、沈でん池・ろ過池機器、相模大堰ゲート設備等の修繕	17.0 %	35.3 %			
更新・改良	○監視制御設備、電気設備、薬品注入設備、ポンプ設備等の計画的な更新 ○既設管路の更新設計等	21.8 %	46.8 %			
浄水場更新	西長沢浄水場の更新に向けた検討	0 %	50.0 %			
機能向上	相模原浄水場排水処理施設の増設、飯泉ポンプ場排砂処理施設の更新等	30.4 %	43.5 %			
耐震化	送水施設(調整池)の耐震化 排水処理施設の耐震化	55.6 %	61.5 %			
浸水・停電・ テロ対策	取水施設浸水対策、非常用発電設備更新・燃料タンク増設、施設覆蓋化検討	33.3 %	57.9 %			
全体		21.9 %	42.7 %			